

## 健康づくり・スポーツ推進特別委員会行政視察概要

1 視察月日 令和5年11月13日（月）～11月14日（火）

2 視察先及び視察事項

(1) 株式会社今治・夢スポーツ（愛媛県今治市）

今治里山スタジアムにおけるスポーツ振興の取組について

(2) 香川県

香川県総合運動公園におけるスポーツ振興の取組について

3 視察委員

委員長 小松 範 昭

副委員長 酒 井 誠

委員 田野井 一 雄

同 増 永 純 女

同 松 本 研

## 視察概要

### 1 視察先

株式会社今治．夢スポーツ（愛媛県今治市）

### 2 視察月日

11月13日（月）

### 3 対応者（役職名）

代表取締役社長

（受け入れ挨拶）

経営企画室里山スタジアム統括

（説明者）

### 4 視察内容

#### （1）今治里山スタジアムにおけるスポーツ振興の取組について

##### ア 岡田武史氏就任の経緯

F C 今治では、2014年に岡田武史氏が、F C 今治の運営母体である株式会社今治．夢スポーツの持分の過半数を取得し、新オーナーに就任した。

取得の経緯は、今治市に本社を置く株式会社ありがとうサービスの社長である元オーナーが、岡田氏と早稲田大学時代の先輩・後輩の関係であったことだった。2010 FIFAワールドカップ南アフリカ大会が終わった後、日本代表監督を退いた岡田氏は、中国のサッカーチームの監督を2年務めていた。その時、スペインの監督から、「日本サッカーには型がないのか」という一言を貰ったことをきっかけに、日本サッカーの型をつくりたいと決意した。大きなチームはしがらみがあり難しいため、新しいことを始めるのであれば、自由に取り組める場所がいいということで、株式会社ありがとうサービスの社長から「今治で自分の持つサッカーチームのオーナーになってはどうか？」と言われたことをきっかけに就任に至った。

##### イ 里山スタジアム建設の経緯

これまでは、同じ敷地内の高台に造ったスタジアムを使用していたものの、収容人数、設備などがJ2規格ではなかったために、現スタジアムの構想が進んだ。

自然と共存でき、365日人が集まるスタジアムに向けて、当初は2020年夏に着工予定であったが、コロナ禍の影響による資材不足の影響などにより、1年以上遅れる形となってしまった。今治市は、

過疎化、高齢化の地域課題を抱える都市であり、市から土地を無償貸与できた一方で、必要な建設費は40億円であったため、地元を軸に自力で調達しなければならず、大変厳しいチャレンジとなった。しかし、岡田氏の熱心な説得が実り、2021年12月には経営者、投資家、地元企業を引受先に約13億円を調達し、その後、ふるさと納税、里山ネームプレートの購入も資金に充て、残りの約20億円は金融機関からの融資で賄った。

#### ウ 建設に向けての構想イメージとコスト削減

スタジアムのテーマは海賊船である。中世の瀬戸内海に君臨した村上水軍から着想を得ている。

社員一同、コスト削減のため、柱一本、椅子一脚に至るまで検討し、けんけんごうごうの議論を重ね、竣工に至った。例えば、予算を削減するため、選手席と客席の間にはフェンスは設けないこととしたが、実際にフェンスを越えて選手に接触するファンはいないという。スタジアムの理念をみんなが大切にしてくれており、マナーを守ろうというファンの心理が働いているとのことであった。

また、コロナ禍での資材の高騰を予測し、地元の鉄骨企業がスタジアム建設の依頼をもらう前から、約3億円分の鉄骨を自腹で発注し確保してくれたというエピソードもあった。担当者はそれを竣工後に知り、地元を支えられここまでこられたと語っていた。

#### エ スタジアムにとどまらない新たなチャレンジ

里山スタジアムの敷地内には、障害のある子供たちの開かれた学びの場である、社会福祉法人来島会のコミュニティービレッジきとなるが建設、運営されている。障害のため職業生活に困難を抱える人や、発達にでこぼこのある子供たちが、自分らしく生きる力を身につけるため、地域の多くの人と関わりながら学んでいく場として、クラウドファンディングを経て建設されたとのことである。

その他にも、カフェやドッグラン、畑（ファーム）等を常設運営することで、この里山を拠点とし、今治市や東予地方を元気にするためのモビリティ事業やコミュニティー事業を進めている。

#### オ 質疑概要

Q 地元からの信頼はどのように勝ち取ったのか。

A 岡田氏を筆頭に、社員が7年間かけ、地元にしげく通い飲食したり、企業回りをしたりすることで、地道に信頼を重ねていった。

Q 近隣との連携はどのように行っているのか。

A 例えば、地元のイオンモールでは、今治F Cの試合のチケット半券を持っていくと買い物が5%引きになるキャンペーンを連携し行っている。また、駐車場も無料で使えるので、相乗効果も期待できる。

また、チームフラッグは市内に約3000か所設置されている。民家から飲食店まで、地元を挙げて自主的にフラッグを掲げたいという申し出もあるくらい、地元から応援をしていただいているのでありがたい。

## (2) 委員所見

サッカーチームにとどまらず、地域、そして未来の社会のため、ビジョンを掲げ走り続ける姿が素晴らしいと率直に感じた。行政は無償の土地貸与にとどまっており、民設民営だからこそできるアグレッシブな取組の数々に大変感銘を受けたと同時に、行政でもこのような民間企業の力を借りつつ、地元を盛り上げるための努力を続けていかなければならないと感じた。



(フェンスのないスタジアム席)



(サッカーコートにて)

## 視察概要

1 視察先  
香川県

2 視察月日  
11月14日（火）

3 対応者  
保健体育課総務・施設グループ課長補佐（受け入れ挨拶）  
いくしまスポーツチャレンジ共同体所長（説明者）

## 4 視察内容

（1）香川県総合運動公園におけるスポーツ振興の取組について

### ア 指定管理者について

香川県総合運動公園では、いくしまスポーツチャレンジ共同体が指定管理者となり、三位一体で運営を行っている。

全体統括と維持管理業務は、香川県内でホテル業、スポーツ健康増進事業や官民連携（PPP）事業を展開している地元企業のあなぶきエンタープライズが担っており、にぎわいを創出するイベントを企画・実行している。また、ミズノ株式会社は、運営業務やスポーツ事業、スポーツフィールドの管理を行っており、香川県造園事業協同組合は、公園緑地管理や植物系イベント、エコイベント企画を担当している。

### イ 総合運動公園運営における4つの基本方針

方針1 スポーツ機会の提供で、県民の元気・健康づくり

- ・ 多様な大会・イベントによるスポーツ振興
- ・ AIカメラ動画撮影サービス等DX推進
- ・ 多世代対応プログラムによる健康増進

方針2 人と地域がつながる交流・賑わいづくり

- ・ 地域の賑わいを創出するイベント開催
- ・ 多様な県民の来園を促す公園活用提案
- ・ 大規模大会や合宿誘致による地域活性化

方針3 いつでも快適・安全なスポーツ・憩いの環境づくり

- ・ 県民ニーズを反映したサービス向上策導入
- ・ 日常巡回・点検で安全安心な環境提供

- ・ 県・本部と連携した迅速で的確なリスク対応
- 方針 4 周辺環境・地域に配慮したサステナブル運営体制づくり
- ・ 公園及び周辺の環境に配慮した運営
  - ・ 地域経済の活性化に貢献する運営管理
  - ・ 県民の雇用創出と資源活用に貢献

ウ 香川県総合運動公園のスポーツ振興の取組の具体例

(ア) 年間を通じたスポーツプログラムや大会、イベントによる利用促進

幼児から高齢者まで約40種類のスポーツ教室を継続的に開催し、多様なニーズに対応したスポーツプログラムで県民の誰もが気軽に参加できる機会を提供することで、令和4年度までの累計で約1万6000名が参加している。土日は施設利用者も多いため、イベントは平日に多く運営をされている。

また、地元プロチームやミズノ契約アスリートによるクリニックが開催されており、プロをじかに見て学ぶ機会を醸成している。

(イ) 公園活性化イベントにより関係人口を増やす取組

公園を知るきっかけとなったり、楽しめたりする各種イベントを企画・誘致し、スポーツをする人も、しない人も、老若男女が楽しめる公園を目指して取組を強化している。具体的には、天体観測教室や各種マルシェ、黒松剪定教室等、様々な企画がある。

また、地域と協働して行うイベントもあり、ピンクリボンいくしまウォークや下笠居地区夏祭り等も実施され、地域との連携を強化し、利用者を増やす努力も行っている。

スポーツ教室事業では、通年開催や定期開催の開催時期別、初心者から上級者までレベル別等、多くの県民がスポーツに触れ、技術習得ができるプログラムを提供している。視察当日はテニス教室が行われおり、全5回を3000円程度で受講できるなど、安価に設定されている。

ウ 質疑概要

Q 施設の使用状況はどの程度か。

A コロナ禍を経て、高齢者のイベント等の参加が減ってしまい、そのまま戻ってきていない。これまでは高齢者が参加し、地域の友達や知り合いを誘い合って交流の輪が広がっていたが、それがなくなり参加者が減少していることに課題を感じている。

また、子供も塾や習い事等の選択肢が増えたことにより、保護

者が休みの日に何をさせるかを定める上で、どんなイベントを提供すべきかをより考えていかなければならなくなっている。

## (2) 委員所見

香川県総合運動公園は、1979年より公園整備が開始され、1982年にレクザムスタジアム（香川県営野球場）を開場しており、歴史ある公園にはたくさんの施設があり、広い施設内に圧倒された。

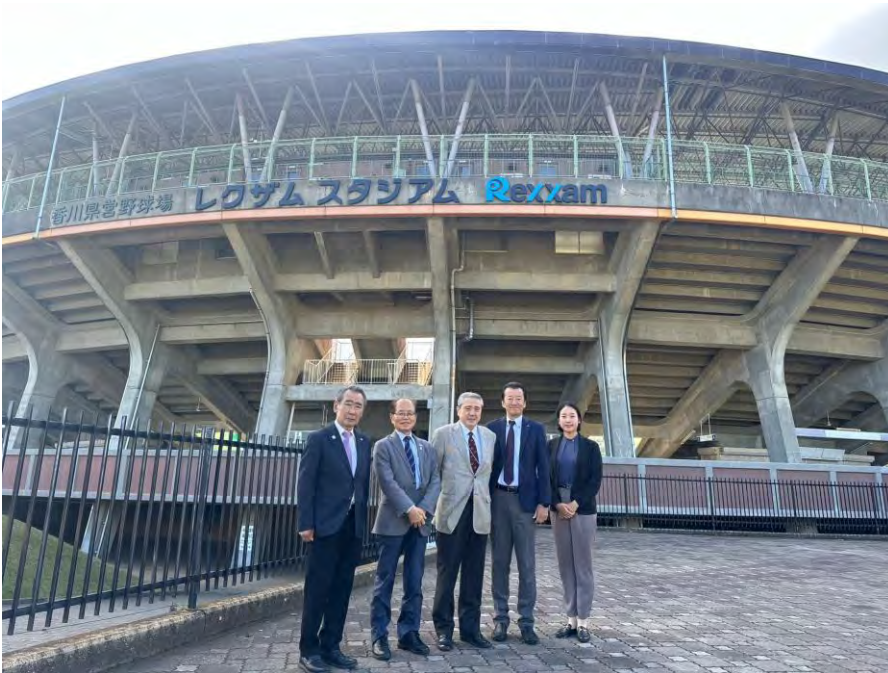
また、指定管理者と行政がしっかり連携し、様々な企画を円滑に運営しているように感じ、さらに、様々なイベントや企画がきっかけとなり、この公園が地域の憩いの場になっていることを肌で感じた。

地域との連携を強化することの重要性を実感し、市政にもしっかり提案していきたい。





(テニス教室の様子)



(レクザムスタジアムにて)